

# any

ars nova yamaguchi [工二一]

Vol. 61  
2007  
SUMMER  
[JUN-AUG]

THEATER

TOPICS

感覚を研ぎ澄まし、みえてくる世界

「true / 本当のこと」

# 感覚を研ぎ澄まし、みえてくる世界



a new sound, light, dance performance

本当のこと

デジタル制御によって豊富なカラーバリエーションの光を作り出すことが可能なLED照明。リアルタイムに対応する音響システムと振動体。それら最新のメディアテクノロジーを使い、身体表現の可能性を追求するパフォーマンス「true / 本当のこと」が、YCAMでの滞在制作を経て、この秋世界初公開されます。

インスタレーションや舞台作品において常に革新的な作品を発表し続けるパフォーマンスグループ“Dumb Type”のメンバーでもある藤本隆行さんに、今回の作品のこと、参考にされたレストラン“El Bulli”について、また、パフォーマーとして参加される白井剛さん、川口隆夫さんのお二人にもコメントをお寄せいただきました。

「true / 本当のこと」というパフォーマンスは、  
現実のどれほど多くの部分が、あなた自身によって  
作り出されているのかを、改めて問い直す為のものです。

“true” — 確かな世界と向き合うために

科学／技術の発展と共に、ヒトは万能であるかのような領域に近づいていますが、一方では奇妙なあきらめにからめとられているようにも思います。それは、閉塞感と言いつてもいいかもしれません。

情報・交通手段の発達で、世界は狭くなったのかも知れないけれど、“現実”は、例えばあるヒトにとっては堅くって爪も立てられないようなものに、また別のヒトにとってはフワフワと正体不明で、分け入っても分け入っても何も見えないようなものになってしまった。でも本当のことを言うと、ヒトが現実だと感じている事の多くは、常に今この一瞬において、一人一人の頭の中で作り出されているものに過ぎない。

ヒトが世界をとらえる為のもっとも基本的な行為である、“視る”ことや“聞く”ことでさえ、自分の外側の強固で安定した物事を、ただそのまま鏡のように映している訳ではなく、常にこの一瞬に立ち現れる事象を、選り分けて加工・再構成し、あなた自身の頭の中で常に新しいあなたの世界を見聞かしている。

基本的に“虚構／お芝居”である事が前提の舞台上で展開される、「true / 本当のこと」というパフォーマンスは、何が嘘で何が真実かという話ではありません。知らぬ間に自分も捕えられているかも知れない閉塞感を振り切るために、“現実”のどれほど多くの部分が、あなた自身によって作り出されているのかを、改めて問い直すためのものです。

ダンス(身体表現)とメディアテクノロジーとの関係 — 自然と科学

ダンスは僕にとって、最終的には“制御不能”。振り付

けを完全に記譜／記録する事が不可能なように、舞台上の身体の動きは、完全には外部から制御しえない。科学というのは、分析と実験／検証。実験は、加速・拡大・抽出。より極端な状況を作って、探っている結果を明確に探し当て、そしてその反証を探る。

レストラン“El Bulli”が教えてくれたこと —  
料理の革新性を身体表現の可能性に置き換える

この店の仕事に対して思うのは、可能性の拡大。料理というのはもう何百年も連続と続いてきたもので、“新しい”料理と言ったって、そこには限界があるような気がする。決まった材料で昔からある料理を作れと言われてたら、工夫出来ることは知れている。そんな思い込みが、El Bulliの料理の紹介をみた時に、打ち砕かれました。そこには、味覚の新しい解釈がありました。食材の温度や食感が、料理を食べる際の味覚の一部であることは、周知の事実ではあるけれど、それをどれほど積極的に利用していくかは今まであまり考えてこられなかった。食材の色や形、それに香りを味と結びつけることは、日本料理などでは特に重要視されているけれど、現在の技術で何処までそれに変形／バリエーションが加えられるかという探求を、ある極端に思えるほど突き詰めていくには、それなりの覚悟と設備、手腕と想像力が必要です。それらの可能性に着目し、古くからある料理をまったく新しい“皿”にしたのが、僕にとつてのEl Bulli。“料理”というものに対する食べたヒトの概念を広げてくれる、“皿”の中にそんな新しい可能性が歴然と存在する。そういう事実をEl Bulliの料理本で見出した時から、いつか舞台でそういう作品を創ってみたいと憧れてきました。

藤本隆行 (Dumb Type / Refined Colors)

● El Bulli [エル・ブジ(現地ではエル・プリ)]: スペイン、バルセロナの近郊にあるレストラン。素材の味や香り、舌触りを斬新な手法で皿の上に表現し、「食べる」行為に新たな驚きを与える独創性の高さから世界最先端の料理とも言われている。



“true”という言葉は、…眠りを誘う  
虚ろに揺れる頼り無い光のようであり、  
少しでも隙を見せたらやばい、  
確信犯的な厳然たる他者でもある。



“true”という言葉は、言えば言うほど、聞けば聞くほど、見れば見るほど、遠ざかってゆくようであり、迫ってくるようであり。眠りを誘う虚ろに揺れる頼り無い光のようであり、少しでも隙を見せたらやばい、確信犯的な厳然たる他者でもある。無限大から極小から果ては消滅まで、想像し得る限り大きな振幅で、それを見ようとする主体をも取り込んだ不確定な振動を描いて流動している。おそらくはその運動が止まったら、それは存在し得ない。とてもダンスという事象に似ていると思います。

YCAMという国内でも最も先端的な、設備、人材、情報が集まり行き交っている場所の一つで、現代的かつプリミティブな、こんな困難なタイトルと向き合うことができるのは、非常にありがたい。

### 白井 剛(発条ト/ AbsT)

発条ト(ばねと)の振付家・ダンサー・映像作家として活動。藤本さん曰く、「発条トはDumb Typeとはまた違う独自の手法で“映像”を使った舞台作品の制作を行っているカンパニー」。ソロでも活躍中で、NHK子ども番組「あいのてい」にも出演。いま注目を集める若手ダンサー・振付家の1人。06年に新ユニット「AbsT」を立ち上げる。

唯一無二の真実は  
美しくロマンチックで感動的です。  
しかし、はたしてそうなのでしょうか。  
真実はひとつなののでしょうか。



真実はこうだと主張し、それに賛同する人をよりたくさん集めた者がより本当の真実を獲得します。真実は何度も繰り返し見せられ語られることによってますます強大になります。唯一無二の真実は美しくロマンチックで感動的です。しかし、はたしてそうなのでしょうか。真実はひとつなののでしょうか。実は真実は他にもあって、今や強大な真実はその過程で他の真実を覆い隠してしまっているのではないのでしょうか。いや、他を覆い隠してしまうことで力を得ていくのかもしれませんが。九州出身の僕は子供のころ関門トンネルを歩いて渡ったことがあります。でもなぜか渡った先の下関の印象はほとんど残っていません。以来山口を訪れるたびに根拠には乏しいけれども親近感を感じます。YCAMで初めてのレジデンスをととても楽しみにしています。

### 川口隆夫(Dumb Type)

Dumb Typeのクリエイティブメンバーおよびパフォーマーとして「OR」「memorandum」「Voyage」に参加。そのほか独自にソロやカンパニーでダンス作品を発表している。英国の映画作家アレク・ジャーマンの遺作エッセイ「クロマ」を共同翻訳するなど、身体表現者であると同時に卓越した言語能力を持つパフォーマーとして今回の作品に関わる。

## 「true/本当のこと」

2007年9月1日(土)

18:30開場/19:00開演

会場:山口情報芸術センター スタジオB

※公演終了後ポストトークあり

### [チケット情報]

一般発売 7月14日(土)~

[料金] 全席自由(税込)

前売 一般 ¥2,300

any会員/特別割引 ¥2,000

当日 ¥2,500

[振付・出演] 白井 剛(発条ト/AbsT)

[振付・テキスト・出演] 川口隆夫(Dumb Type)

[ディレクション・照明] 藤本隆行(Dumb Type)

[音響・映像・ビジュアルデザイン] 南 琢也(softpad)

[音響・プログラミング] 真鍋大度

[映像・プログラミング] 堀井哲史(rhizomatiks)

[機構設計] 齋藤精一(rhizomatiks)

[センサー・振動子メカニク] 照岡正樹(VPP)

[衣装デザイン] 北村教子

■チケットのご予約・お問い合わせは中の折込ページをご覧ください。 ■いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。

■特別割引は、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象となります。

■特に記載のない場合は託児サービスあり。詳細は中の折込ページをご覧ください。

# THEATER INFORMATION

振付家×山口県下ダンス教室

## 「混舞 DANCE MIX」

2007年7月21日(土) 19:00開演

22日(日) 14:00開演 ※各30分前開場

会場:山口情報芸術センター スタジオA



講師紹介

**本間祥公**  
Honma Yoshiki

本間祥公ダンス・バレエアカデミー主宰。  
芸術選奨文部大臣新人賞、芸術祭賞、  
現代舞踊協会新人賞・特別新人賞など多  
数受賞。

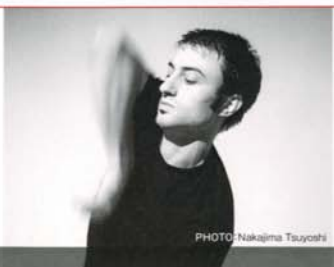


PHOTO Nakajima Tsuyoshi

**アレッシオ・シルベストリン**  
Alessio Silvestrin

地元イタリアやスイスでダンスを学ぶ。  
ベジャール・バレエ・ローザンヌ、リヨン・  
オペラ座・バレエ、フランクフルト・バレエ  
にて、ダンサー、また振付家として活躍。



**若林 淳**  
Wakabayashi Jun

舞踏家鷹赤児が主宰する大駱駝艦ダン  
スマスター。醒めたナルシズムを孕む、  
正確無比なおどりは、駱駝艦外からも  
注目を集めている。

山口県内のダンス教室や舞踊研究所に内外で活躍する振付家を派遣し、オリジナル作品を創作。各教室の作品と合わせ、合同発表公演を行います。日本のダンス界を牽引したベテランから、舞踏や海外で活躍する振付家まで、山口のダンススタジオからどのような新作が生み出されるか。教室の作品と合わせてお楽しみください。

【チケット情報】一般発売 6月2日(土)～

【料金】全席指定(税込)

一般 ¥1,200 any会員 / 特別割引 ¥1,000

【出演】加藤舞踊学院(山口市)×本間祥公

マリ・バレエ・スクール(宇部市)×アレッシオ・シルベストリン  
AMM/フォーミングアーツ(岩国市)×若林 淳(大駱駝艦)

## 劇団戸ダンダンスエノ 双六公演 「砂利」

2007年7月16日(月・祝) ①13:00開演 ②17:30開演

※各30分前開場

会場:山口情報芸術センター スタジオA

テレビドラマ、映画、舞台上で活躍する近藤芳正が、01年に「俳優の俳優による俳優のための」ユニット「劇団戸ダンダンスエノ」を設立。04年「バナナが好きだな」以来3年ぶりの上演となる今回は、歌舞伎界のスターであり小劇場初出演の坂東三津五郎、映画「みすゞ」の田中美里、個性派女優片桐はいりを迎え、お送りします。



【チケット情報】好評発売中

【料金】全席指定(税込)

一般 ¥5,000 any会員 / 特別割引 ¥4,700

【出演】坂東三津五郎、田中美里、片桐はいり、  
酒井敏也、山西 惇、近藤芳正

## 「もっと演劇を楽しむためのワークショップ」

2007年7月14日(土)～16日(月・祝) 各日13:00～17:00

※原則として3日間通しての参加

会場:山口情報芸術センター スタジオB

現代演劇の可能性を追求し続ける演出家、阿部初美さんを招いての、演劇を観るひとのためのワークショップ。レクチャーとちょっとした実践を通して、演劇をいつもと違った角度から観たり、より深く観るためのポイントを知ることが出来ます。もっと面白く観劇したいという方も、興味はあるけど難解そうだと考えている方も、きっと新しい舞台に出会うことが楽しみになるはずです。

【対象】高校生～一般20名(先着順) 【参加費】¥1,500(全日通し)

【講師】阿部初美(演劇集団円)

【申込方法】葉書・FAX・e-mailにて、住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日(保険適用のため)、電話番号・e-mail等連絡先をご記入の上、下記へお申し込みください。

〒753-0075 山口市中国町7-7 山口情報芸術センター

演劇ワークショップ係 e-mail:engeki@ycam.jp FAX:083-901-2216

【申込締切】7月6日(金)

■チケットのご予約・お問い合わせは中の折込ページをご覧ください。 ■いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。  
■特別割引は、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象となります。  
■特に記載のない場合は託児サービスあり。詳細は中の折込ページをご覧ください。



## 文学座「おーい幾多郎」

2007年9月2日(日) 13:30開場/14:00開演  
会場:山口情報芸術センター スタジオA

日本を代表する哲学者西田幾多郎(きたろう)博士は、青年教師時代に山口で教鞭を執った後に金沢へと移り住みました。この作品はその金沢時代を舞台に、日々の暮らしに苦悶しながらも研究にいそむ幾多郎、凜とした気品をただよぼす母、軍人の弟、出戻りの姉、そして幾多郎を陰で支える妻と子どもなど西田家の人々が織りなす笑いと涙のヒューマンドラマです。家族のきずなや心のよりどころの大切さを考えてみませんか。

金沢市民芸術村の戯曲講座から台本が誕生し、ワークショップやリーディング、そしてドラマ工房の市民公演を経て、劇団文学座による金沢・東京公演がなされ、今回07年の全国ツアーまで至りました。戯曲賞に名を残す岸田國士らが創立し、俳優座、民藝とともに日本を代表する新劇三大劇団と称される文学座初めての山口公演となります。



### 【チケット情報】

any会員先行予約 7月15日(日)～

一般発売 7月22日(日)～

### 【料金】全席指定(税込)

一般 ¥2,500 any会員/特別割引 ¥2,200

### 【作】池田むかう

【ドラマドクター】松田正隆

【演出】西川信廣

【美術・衣裳】朝倉拱

【出演】文学座

## 「踊りに行くぜ!! vol.8」選考会

2007年6月10日(日) 14:00～  
会場:山口情報芸術センター スタジオA

※応募状況により開催の変更があります。事前にお問い合わせください。

「踊りに行くぜ!!」～全国パフォーマンススペース間のダンス巡回プロジェクト～に参加する山口県の選考会を実施します。20分以内のオリジナルのダンスを披露し、ここで選出された地元のアーティストが他の地方からの出演者とともに秋に作品を上演します。昨年は、山口大学出身の「江藤由紀子」と山口を拠点に国内外で活動をしている「Small Apple(田村真樹子)」が選出されました。今年は、どんなダンスアーティストが出てくるのか、その誕生を目の当たりにするチャンスです。



PHOTO:丸尾隆一(YCAM)

【料金】無料

【選考委員】

今井美知(株式会社シアターテレビジョン代表取締役)、  
梁木靖弘(国際演劇評論家協会(AICT)会員・九州大谷短期大学教授)、  
NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(UCDN)、  
四元朝子(山口情報芸術センター制作)

## 「イッセー尾形の とまらない生活2007 in 山口」

2007年6月30日(土) 14:30開場/15:00開演  
7月1日(日) 13:30開場/14:00開演  
会場:山口情報芸術センター スタジオA

昨年に引き続き、イッセー尾形が山口に登場。今年のイッセー尾形から何が飛び出すのか!? ご期待ください。また、演劇ワークショップ+発表公演も昨年同様に開催。今回は生誕100周年を記念して「中原中也」を題材に行なわれます。



### 【チケット情報】好評発売中

【料金】全席指定(税込)

一般 ¥4,000 any会員/特別割引 ¥3,700

### 【演出】森田雄三

【出演】イッセー尾形

## 「生誕百年記念—“中原中也のつくり方”ワークショップ!!」

2007年6月25日(月)～29日(金) ※原則として昼・夜いずれかの回を通して参加

【昼の回】14:00～17:00 / 【夜の回】18:00～21:00

6月30日(土)・7月1日(日) 各日10:00～

【参加費】各日¥1,000円(※6/30、7/1は無料) ※申込方法は左ページ「もっと演劇を楽しむためのワークショップ」を参照ください。

【講師】森田雄三・イッセー尾形

【申込締切】6月24日(日)

「中原中也のつくり方」ワークショップ係

e-mail:issey07@yacam.jp

## 「ワークショップ発表公演」

2007年6月30日(土) 17:00開場 / 17:15開演

【料金】全席自由(税込) ¥1,000

7月1日(日) 16:00開場 / 16:15開演

【出演】イッセー尾形、WS参加者

## 東京都交響楽団が贈る 「世界音楽の旅」

2007年8月25日(土) 16:30開場/17:00開演  
会場:大ホール



### 気ままにクラシックを楽しむ音楽旅行へ さあ出かけよう!

国内屈指のオーケストラである東京都交響楽団による名曲コンサート。ソリストにチャイコフスキー国際コンクール・ショパン国際ピアノコンクールの2大国際コンクールに初めて入賞した日本人として脚光を浴び、以来、実力・人気ともに日本を代表するピアニストとして活躍中の小山実雅恵を、指揮者にヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団の音楽総監督を務める飯森範親を迎え、誰もが知っている名曲で、ヨーロッパやアメリカ大陸をめぐる音楽の旅にみなさまをお連れします。TVドラマ・アニメ化され話題を集め、クラシック音楽ブームの火付け役となった「のだめカンタービレ」。そのドラマで実際に演奏をしていたオーケストラが今回やって来る都響であることは、みなさんご存知ですか? ドラマで流れていた「ラブソング・イン・ブルー」も演奏されます。また、公演中は曲と曲との間に、解説を交えながら、その演奏曲が作られた歴史的な背景や作曲者などを分かりやすくご紹介していきます。クラシックをもっともっと好きになるための入門篇として、このコンサートにぜひ足をお運びください。



小山実雅恵

飯森範親

【チケット情報】好評発売中

【料金】全席指定(税込)

一般5席 ¥5,000 A席 ¥4,000

※any会員は、一般料金から各¥500引き

※大学生以下は、一般料金から各¥2,000引き

【演奏】小山実雅恵(ピアノ)、

東京都交響楽団

【指揮】飯森範親

【助成】(財)地域創造

【曲目】スメタナ:交響詩「我が祖国」から「モルダウ(ヴルタヴァ)」「(チェコ)

シベリウス:交響詩「フィンランディア」(フィンランド)

ガーシュイン:「ラブソング・イン・ブルー」(アメリカ合衆国)

ガーシュイン:「アイ・ガット・リズム変奏曲」(アメリカ合衆国)

ストラヴィンスキー:バレエ組曲「火の鳥」1919年版(ロシア)

関連  
イベント

### 「東京都交響楽団 金管メンバーによる ミニコンサート」

2007年8月11日(土) 市内2ヶ所

※詳しくはYCAM夏休み特集ページをご覧ください。

## 演劇公演「コースター(仮)」

2007年10月29日(月) 18:30開場/19:00開演  
会場:大ホール

テレビドラマやCMでもおなじみの俳優、西村雅彦を主演に迎えた演劇公演。旬な若手俳優、金子貴俊もメインキャストとして出演します。

物語の主人公は空き巣をねらう泥棒。ある日、閉店しているバーに入り、お金を盗もうとするが、そのとき突然お店の扉が開き、営業していると勘違いして入ってきたお客たちと遭遇。驚きつつも、泥棒であることを気付かれないように、なんとか店員の振りをしてその場を乗り切ろうとする泥棒だが…。ばれずに逃げる事ができるのか? 一体どんな結末が待っているのか? ハラハラドキドキ、笑いあいの楽しい公演です。お楽しみに!!



【チケット情報】

any会員先行予約 8月11日(土)~

一般発売 8月18日(土)~

【料金】全席指定(税込)

一般 ¥5,000 any会員 ¥4,500

【出演】西村雅彦、金子貴俊、東根作寿英、  
保田圭 ほか

## 「綾戸智絵 Live 2007」

2007年7月7日(土) 17:45開場/18:30開演 会場:大ホール  
ジャズシンガー綾戸智絵のパワー溢れるステージにご期待ください。

【チケット情報】好評発売中

【料金】全席指定(税込)

一般 ¥7,000 any会員 ¥6,700

## 「ザ・アイリッシュダンス」 ～ラグース・ショー～

2007年7月24日(火) 18:30開場/19:00開演 会場:大ホール  
世界各国でいま人気を集めるアイリッシュダンス・カンパニー「ラグース」が再来日。歌と音楽そしてダンスの三拍子そろったエンターテインメントをどうぞ堪能ください。

【チケット情報】好評発売中

【料金】全席指定(税込)

一般 S席 ¥7,000 A席 ¥5,500 B席 ¥4,000

※any会員 各¥300引き



特別企画展

「小林秀雄と中原中也」

2007年7月25日(水)～  
9月24日(月・休)

中原の心の中には、実に深い悲しみがあつて、  
それは彼自身の手にも余るものであつたと  
私は思つてゐる。(小林秀雄「中原中也の思ひ出」より)

中原中也生誕百年に当たる平成19(2007)年、中原中也記念館は特別企画展「小林秀雄と中原中也」を開催いたします。中原中也を語る上で欠かせない友人、小林秀雄。小林と中也の関係は、大岡昇平を始め、これまでも多くの人々によって語られてきました。しかし、展示の主題として二人の関係を扱うのは本邦初となります。本展では、自筆原稿や遺品など、小林と中也に関する貴重な資料を通じて、日本を代表する評論家と詩人の魂の交流に迫ります。



小林秀雄(昭和6年頃)

企画展Ⅱ

「収蔵資料展」

2007年5月30日(水)～  
7月22日(日)

普段の展示ではあまりご紹介することのない、記念館収蔵の貴重な資料を展示いたします。中也の世界の背景に漂う、多くの同時代雑誌や書籍、物、人々を見ていただくことで、中也の詩の世界が一段と深まって感じられることを願います。



中也所持名刺



雑誌「青い花」

「IMAGINARY CHUYA / 映像としての中也のこぼれ」  
DVDブックレット販売のお知らせ



山口情報芸術センターにて昨秋に開催した展覧会「IMAGINARY CHUYA / 映像としての中也のこぼれ」(06年11月～07年1月開催)のために制作された7組の日本の現代アーティストによる新作映像作品と、その関連ドキュメントを納めたDVDを販売。この展覧会は、山口市に生まれ、現代詩にも今なお大きな影響を与える存在である詩人・中原中也をテーマに企画したもので、中也の遺した言葉の中から、コンテンポラリーアート、実験映像、アニメーション、コンテンポラリーダンスなど、多様な芸術ジャンルより選ばれたアーティストが、自由にイメージを展開し、映像/音響作品を制作しました。本DVDは会場で展示された7つの作品を完全収録し、またブックレットでは、各アーティストのインタビューや対談、評論等を収録。DVDだけではなくブックレットも充実した内容となっています。

[仕様] A5版/32P/カラー/限定700部  
[価格] 2,000円(税込)

[参加アーティスト] 大木裕之、off nibroll、木村友紀、高嶺 格、布山タルト、堀家敬嗣、前田真二郎  
[販売場所] 山口情報芸術センター、中原中也記念館 ほか

※山口情報芸術センターのホームページからも申し込みいただけます。詳しくはお問い合わせください。

## 財団各種情報・お知らせ

## any(エニー)会員募集

「any」は、山口市文化振興財団が主催・共催する公演、ワークショップ、展覧会等の情報をいち早くお知らせし、よりいっそう楽しんでいただくための友の会です。欲しい公演のチケットが一般の人よりも安く、早く買えることができるなどの特典があります。あなたもこの機会にany会員になりませんか？

【入会金】500円 ※更新されるときは年会費のみ。ただし、会員期間内に更新されなかった場合は入会金をお支払いいただきます。

【年会費】1,500円

【会員期間】入会日から翌年の入会月末まで(更新することに1年延長)

【会員特典】財団主催・共催の公演チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもございます)、情報誌の無料送付、コミュニティシネマ山口・中原中也記念館招待券プレゼントなど

【申込方法】インターネット(www.ycfcp.or.jp)、お電話(TEL.083-920-6111)、窓口(山口情報芸術センター)のいずれかで会員登録手続きを行なうことができます。※詳しくはお問い合わせください。

## 財団主催・共催公演チケットのお求めについて

## 【予約方法】

■インターネット▶山口市文化振興財団ホームページ

<http://www.ycfcp.or.jp> (要事前登録 24時間受付)

※any会員の方は先行予約開始日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。

■電話▶チケットインフォメーション

TEL.083-920-6111

(10:00~19:00 ※火曜休み 火曜が祝日の場合はその翌日)

■窓口▶山口情報芸術センター

(10:00~19:00 ※火曜休み 火曜が祝日の場合はその翌日)

※先行予約初日はお電話またはインターネット予約のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

## 【支払方法】

■クレジットカード

インターネット・電話でチケット予約された際にご利用いただけます。チケットのお受け取りはお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

■セブンイレブン

インターネット・電話でチケット予約された際に、お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

■窓口 ※上記予約方法「窓口」参照

## 託児サービスのご案内

山口市文化振興財団では託児サービスを行なっています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。お子様の食事は事前にご用意しておいてください。

■公演開催時

【対象】0才(6ヶ月)以上

【料金】お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

【時間】開演の30分前から終演後30分まで

【申込方法】公演日の1週間前までに左記チケットインフォメーションまたは山口情報芸術センターにてお申し込みください。

※公演によっては行なわない場合もございます。事前にお問い合わせください。

■山口情報芸術センター キッズスペース

【対象】1才以上

【料金】1人につき30分150円

【時間】13:00~17:00(山口市立中央図書館休館日を除く)1回2時間まで

【申込方法】当日山口情報芸術センターにてお申し込みください。

満員の際は順番制となります。

## 特別割引について(対象は山口情報芸術センター公演のみ)

山口情報芸術センターのみの販売となります。

青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。年齢の分かるもの、障害者手帳等をご提示ください。※当日席は割引の対象外

## ■山口情報芸術センター

〒753-0075 山口市中国町7-7  
TEL.083-901-2222 / FAX.083-901-2216  
開館時間▶10:00~20:00  
チケット取り扱い時間▶10:00~19:00  
休館日▶火曜(祝日の場合はその翌日)、  
年末年始

## ■中原中也記念館

〒753-0056 山口市湊田温泉1-11-21  
TEL.083-932-6430 / FAX.083-932-6431  
開館時間▶【5月~10月】9:00~18:00(入館は17:30まで)  
【11月~4月】9:00~17:00(入館は16:30まで)  
休館日▶月曜日(祝日の場合はその翌日)、毎月最終火曜日、年末年始



## ■山口市市民会館

〒753-0074 山口市中央2-5-1  
TEL.083-923-1000 / FAX.083-928-8488  
開館時間▶8:30~17:00  
チケット取り扱い時間▶10:00~17:00  
休館日▶年末年始



「シリーズ 映画史を読み解く#8」映画上映+レクチャー

## ストローブ=ユイレ特集

2007年7月6日(金)~8日(日)

会場:山口情報芸術センター スタジオC

[レクチャー] 7月6日(金) 20:20~

孤高の存在を保ち続ける、現代芸術史上最も重要な映画作家の1人、ストローブ=ユイレの最新作を含む映画作品2本を上映。またペドロ・コスタによる、彼らの作品制作の過程を記録した貴重なドキュメンタリー映画を、参考作品として合わせて上映いたします。

## 上映作品

[料金] 各回¥500(限定100名)

※上映開始時間はお問い合わせください。

ジャン=マリー・ストローブ/ダニエル・ユイレ監督作品

「労働者たち、農民たち」(2000年/123分) 1

「あの彼らの出会い」(2006年/68分) 2



ペドロ・コスタ監督作品

「映画作家ストローブ=ユイレ/  
あなたの微笑みはどこに隠れたの?」(2001年/104分) 3

ストローブ=ユイレ Straub-Huillet

ジャン=マリー・ストローブ(1933~)とダニエル・ユイレ(1936~2006)は、1954年パリにおいて出会い、その後、公私にわたるパートナーとなり、映画作家「ストローブ=ユイレ」として、商業主義映画の対極を行く独自の映画制作を始める。ショット数が切り詰められ、映像と音がこれ以上ないレベルで、厳格にコンポジションされた彼らの作品は、ヨーロッパ芸術の一つの頂点とさえいえるだろう。

## コミュニティシネマ山口

会場:山口情報芸術センター スタジオC

※上映開始時間はお問い合わせください。



「素粒子」(2006年/113分/ドイツ)

6月15日(金)~17日(日)

監督:オスカー・レーラー

原作:ミシェル・ウェルベック

出演:モーリッツ・ブライプトロイ



「絶対の愛」

(2006年/98分/日本・韓国)

6月29日(金)~7月1日(日)

監督:キム・ギドク

出演:ソン・ヒョナ、ハ・ジョンウ、パク・チョン



「黒い眼のオペラ」

(2006年/118分/台湾・フランス・オーストリア/R-15)

8月24日(金)~26日(日)

監督:ツイ・ミンリャン

出演:リー・カンション、チェン・ジャンチー



「太陽」イッセー尾形公演関連上映

(2005年/115分/ロシア・イタリア・フランス・スイス)

6月22日(金)~24日(日)

監督:アレクサンドル・ソクーロフ

出演:イッセー尾形、佐野史郎、桃井かおり



「二十四の瞳」

(1954年/156分/日本/デジタルリマスター版)

8月17日(金)~19日(日)

監督:木下恵介 原作:壺井 栄

出演:高峰秀子、天本英世、笠 智衆

[料金] 一般 ¥1,000/エニー会員・学生 ¥800/ジュニア・シニア・障がい者と介護の同行者1名 ¥500

NPO法人こどもステーション山口共催事業  
子供のためのシェイクスピアカンパニー

## 「夏の夜の夢」

2007年8月10日(金) 18:30開場/19:00開演  
会場:山口情報芸術センター スタジオA



シェイクスピア作品の面白さや普遍性を知ってもらいたいと95年に誕生した「子供のためのシェイクスピア」シリーズ。シンプルな舞台装置と限られた出演者や人形を用いて、観客の想像力をかき立てる演出で子供から大人まで楽しめるのが大きな特徴です。今年、「夏の夜の夢」。森の中を舞台に人間関係やその想いが錯綜する貴族とそれを翻弄する妖精たちの物語です。

[チケット情報] 一般発売 6月10日(日)~

[料金] 全席指定(税込)

一般 ¥2,300 any会員/特別割引 ¥2,000 高校生以下¥1,200

[作] ウィリアム・シェイクスピア [脚本・演出] 山崎清介

[出演] 子供のためのシェイクスピアカンパニー

## 「夏休みクリケット ワークショップ」

2007年8月15日(水)~31日(金)

各日12:00~17:00

会場:山口情報芸術センター 創作・学習室



クリケットとは、マッチ箱ほどの小さなコンピュータ。パソコンからプログラムを送り、センサーなどを取り付けて自由に動かすことができます。教育用に開発されたツールを使って、仕組みが見えにくいコンピュータの中身遊びながら知ることができます。

[対象] 小学生 各10名ずつ(要申込、一日完結)

[参加費] 1日300円

[申込方法] 書葉・FAX・e-mailにて、住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日(保険適用のため)、電話番号・e-mail等連絡先をご記入の上、下記へお申し込みください。

〒753-0075 山口市中園町7-7 山口情報芸術センター

夏休みクリケットワークショップ係 e-mail:cricket2007@ycam.jp

FAX:083-901-2216

YCAMがオススメする

# 夏休みの 過ごし方

親子で楽しめる演劇に、ホワイエを使った音楽コンサート、星空を眺めながらの野外映画上映会、自由研究のヒントになるかもしれない創作ワークショップ。どれも楽しい内容で、今年の夏休みの思い出の中に素敵な彩りを加えてくれるはず。さあ、YCAMに集合だ!

真夏の夜の星空上映会

## 「笑うミカエル(大天使)」

(2005年/日本/92分) [DVD]

2007年8月11日(土) 19:30~

会場:中央公園

※しきものは各自でお持ちください。  
※雨天の場合は館内



山口の夏の風物詩のひとつになってきた「真夏の夜の星空上映会」。今年、川原泉原作の人気少女漫画を映画化した痛快学園コメディを上映します。主演は、大ヒット映画「スウィングガールズ」、TVドラマ「のだめカンタービレ」の上野樹里。

ソフトクリームや飲み物の屋台も登場します。夕涼みしながら、中央公園の芝生にゆっくり座って、ご家族やお友達と一緒にご覧ください。

[料金] 無料

[監督] 小田一生

[原作] 川原泉「笑う大天使(ミカエル)」(白泉社刊)

[出演] 上野樹里、関めぐみ、平愛梨、伊勢谷友介、谷村美月、手塚理美 ほか

東京都交響楽団金管メンバーによる

## 「YCAMホワイエコンサート」

2007年8月11日(土) 14:00~

会場:山口情報芸術センター ホワイエ

8月25日(土)に山口市民会館で行なわれるオーケストラ・コンサート「東京都交響楽団が贈る「世界音楽の旅」」のプレイベントとして、都響の金管奏者であり、また単独のユニットとしても活躍する「東京メトロポリタン・ブラスクインテット」が山口にやって来て、ミニコンサートを行います。本番で演奏する曲もご紹介いたしますのでお楽しみに!

[同時開催] 16:00~

「街角コンサート」会場:山口市中市商店街ちまきや前

[料金] 無料

[出演] 東京メトロポリタン・ブラスクインテット:高橋 敦/中山隆崇(トランペット)、

西條貴人(ホルン)、小田相寛之(トロンボーン)、佐藤 洋(チューバ)



meets the artist 2007

編集ワークショップ  
一冊の本をみんなで作るmeets  
the  
artist

アーティストと一般参加者が長期的に  
関わって活動する参加型アートプロジ  
ェクト「meets the artist」。アーテ  
ィストとともに一緒にプロジェクトを創  
り上げていく「市民コラボレーター」を  
募集します。

プロジェクト第3弾の今回は、哲学者  
であり、京都芸術センターで発刊され  
ていた季刊誌「DIX」(ダイアテキス  
ト)の元編集長でもある吉岡洋さん。  
編集という概念をキーワードに、吉  
岡さんとともに本のテーマを絞り込み、  
最終的に1冊の本を作成、出版します。  
その過程で体験する。編集を手がかり  
に、山口を編集しなおし、さらには自分  
のライフスタイルも編集しなおすきつ  
かけになるかもしれません。

まずはプロジェクト第1回目のアーテ  
ィスト・レクチャーにご参加ください。  
「コラボレーター」への応募は、レクチャー  
に参加できなくても可能です。

## 吉岡さんからのメッセージ

「編集」とはいわば、(共存)のテクノロジ  
ーです。いろんなイメージやテキストを  
ただ集めるのではなく、それらを組み  
合わせデザインすることで、元の素材が  
持っていなかった新しい情報が、そこか  
ら生まれてくるようにすることです。」

## 吉岡洋

Yoshioka Hiroshi

56年京都生まれ。京都大学哲学科  
(美学専攻)、同大学院修了。現在京  
都大学大学院文学研究科教授。著書  
に『情報と生命』『思想の現在形』など。  
京都芸術センター発行の批評雑誌  
『Diatxt』編集長(1~8号)。展覧会企  
画として「SKIN-DIVE」展(99)、「京都ビ  
エンナーレ2003」、「大垣ビエンナーレ  
2006」など。

## アーティストレクチャー・吉岡洋

## 「編集的脳みその獲得」

2007年6月23日(土) 13:30~15:00

会場:山口情報芸術センター ホワイエ

プロジェクトの講師である吉岡さんに、テーマとなる「編  
集」をキーワードに、これまでの活動や、今後山口で展開  
していくプロジェクトについて語っていただきます。レクチャー  
のみの参加もOK。終了後は、プロジェクト参加希望  
者向けの説明会が行われます。編集に興味のある方はぜひ  
お集まりください。

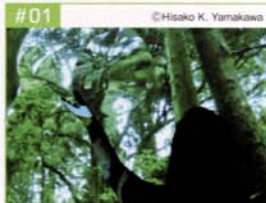
## Scopic measure

## YCAM長期展示作品シリーズ「scopic measure」

館内のさまざまな場所で、先端情報技術を柔軟に使いこなす若手アーティストによる作品に  
出会うことができます。気に入った作品は、ぜひ何度も体験してみてください。

( #04はART TOPICSをご覧ください )

情報が作り出す世界に、  
館内のあちこちの場所から  
つながってみよう。



## 「KODAMA」

山川 尚子

2007年2月1日(木)~7月2日(月)  
会場:山口情報芸術センター  
2Fギャラリー



## 「MaSS 2007 ver.」

MaSS dev. + YCAM InterLab

2007年4月4日(水)~11月5日(月)  
会場:山口情報芸術センター  
2Fギャラリー



## 「Modulobe」

江渡浩一郎

(独立行政法人 産業技術総合研究所)

2007年4月20日(金)~12月27日(木)  
会場:山口情報芸術センター  
スタジオC前

## ART TOPICS

コンピュータプログラムと独自の体感型のインターフェイスを用いて、日常では見えてこない世界を追求するアーティスト、平川紀道さん。

2年前、YCAMで行われた「時間旅行」展では、地球の表面を内側から見るように探査していくことができるインタラクティブ作品「GLOBAL BEARING」を展示し、非常に多くの体験者に好評を博しました。今回「scopic measure #04」では、最新作を含む2作品を展示します。

DriftNet

PHOTO:小塚大貴

YCAM長期展示作品シリーズ「scopic measure #04」

### 平川紀道「a plaything for the great observers at rest」/「DriftNet」

2007年5月9日(水)~7月12日(木) 12:00~18:00

会場:山口情報芸術センター スタジオB

入場無料

## イメージの転換が生み出すドリフト体験 DriftNet

情報の波間をさまよう感覚

島根県出身の平川さん。もうひとつの作品「DriftNet」は、「海を見ているとき、それが何となく検索エンジンのトップページを見ているときの心境に近い」とふと感じたことがきっかけだそうです。会場には、目の前にCGによる大海が広がり、巨大な波がうち寄せています。体験者が体を動かしてこの波を掻き分けると、波間から赤くマークされたリンクが浮かび上がり、波の諸条件によって次のサイトが特定され、再びデータが押し寄せてきます。

実は、この波は、インターネットという実体のない仮想空間の中で本来はブラウザ上でコンテンツとして閲覧されるはずの情報を、数値データの羅列としてダウンロードし、生成したものです。私たちは、www.などでリンクをたどってウェブサイトを見て回る行為を、ネットサーフィンと呼んでいますが、ひとたび、ブラウザというサーフボードを失うと、私たちはネットの海で自由に振る舞うことができなくなってしまう。

インターネットの情報空間にアクセスし、ドリフトする(さまよう)感覚を試してみましょ。

平川紀道

Norimichi Hirakawa



82年生まれ。07年多摩美術大学大学院美術研究科修了。「GLOBAL BEARING」にて第8回文化庁メディア芸術祭優秀賞受賞。グループ展として、2006年「Research」(せんだいメディアテーク/仙台)、07年「OPEN SPACE 2007」(NTTインターコミュニケーション・センター/東京)等に参加。今年4月にはミラノサローネ(イタリア)での展覧会「Invisible Garden」にてインスタレーションを発表。

<http://counteraktiv.com/>



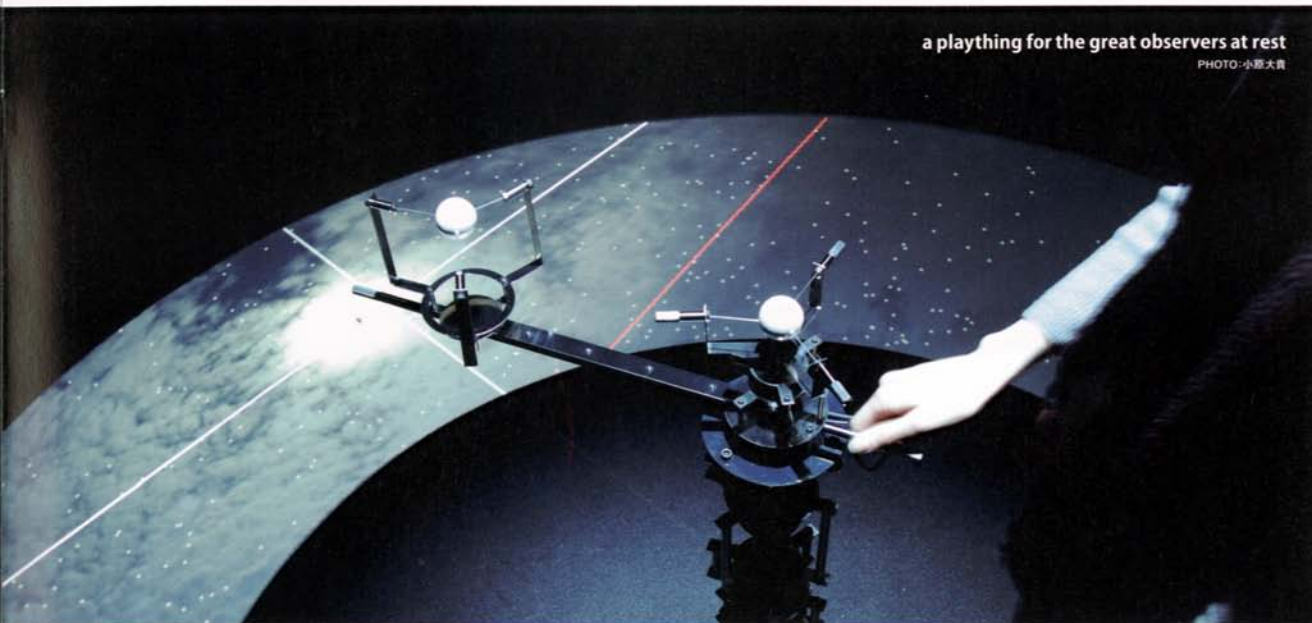
## Interfacing Realities

インターフェイスング・リアリティ、不可視の世界をドリフトする。

「a plaything for the great observers at rest」 / 「DriftNet」

a plaything for the great observers at rest

PHOTO:小原大貴



### 定説を疑うことで見えてくるもの

a plaything for the great observers at rest

#### 宇宙の中心をスイッチング

古代から論じられてきた宇宙と地球との関係を巡る「地動説／天動説」。もちろん科学的知識として、地動説が正しいと誰もがわかっています。わたしたちはそれを体験として感じているでしょうか。実際に「地動説／天動説」を切り替えながら体験できたらどうでしょう。この作品は、その視点の転換を扱った作品です。

会場となるスタジオBには、手元で地球の自転と公転、さらに公転軸を操作し、宇宙の中心を置き換えることができる「インターフェイス」が設置され、その変化に合わせて床面に投影された天空や宇宙の映像がダイナミックに変化していきます。

#### 発想の原点

平川さん曰く、「地球が回っているということに疑問人はいませんが、それを証明できる人は少ないですね。この例に限らず、常識的に信じてしまっているものを疑うことで、反対に見えてくるものもあるのでは」。実際のところ、事前に「天動説から地動説への転換の歴史と、それぞれの説の内容について、実際に太陽を観測する方法論」について入念なリサーチを行なったそうです。「実在するモノに対する視点」が常にクリティカルであるからこそ、見えてくるものがあるのかも知れません。

タイトルには、「世界の中心を据え換える」という概念のダイナミズムは、(過去の天文学者たちがそうであったように)見る側の想像力によって得られるもの。表面的なインタラククションを超えた部分へ想像力を巡らせることによって、過去の天文学者にとってはこのインターフェイスが遊具(Toy)のようなものとして映るのでは」という逆説の意図が込められています。

この作品を通して、体を感じる「地動説／天動説」を実際に体験してみてください。



# any

ars nova yamaguchi

[アート]

Vol. 61  
2007  
SUMMER  
[JUN-AUG]

TOPICS

Interfacing Realities

インターフェイスング・リアリティ、  
不可視の世界をドリフトする。

scopic measure #04

「a plaything for the great observers at rest」 / 「DriftNet」

財団 法人 山口市文化振興財団  
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion